

第三次富士市緑の基本計画素案（概要版）

第1章 計画の基本的事項（本編P1）

【目標年度】令和17（2035）年度
【対象区域】富士市（都市計画区域）

- **緑の基本計画とは**
地域の特性に合わせて、市民、事業者、行政が協力して緑の保全・創出に関する施策や取組を総合的に展開していくために、市町村が策定する計画です。
- **計画策定の背景と目的**
環境や社会の変化に対応した新たな緑の方針を定めることにより、持続可能な都市づくりを進めていくことを目的としています。
- **国・県の動向**
カーボンニュートラル・ネイチャーポジティブ・Well-being（ウェルビーイング：幸福度）の実現、グリーンインフラの実装、都市公園の柔軟な管理運営、集約連携型都市構造の実現などが求められています。
本市においても、これらの動向を受け、市民・事業者・行政が連携・協働して、緑を活かしたまちづくりを着実に推進していくことが求められています。

<策定のポイント>

- 様々な背景を踏まえつつ、特に次の点に考慮して策定
- ・国の「緑の基本方針」、上位計画である第三次富士市都市計画マスタープランをはじめとする国、県、市の新たな動きへの対応
 - ・指標の見直しと取組の進行管理を考慮したアクションプランづくり

第2章 本市の概況（本編P9）

緑を取り巻く状況（本編P9）

- ・人口減少、少子高齢化が進む中、市の財政は厳しさを増すと予測され、公共施設などの整備と維持管理のバランスを見直す必要があります。
- ・市街化区域において宅地化が進み、自然的土地利用（主に農地）の割合が低下しています。
- ・【環境保全】市街地の外に広がる樹林や農地等の面的な緑とそのネットワーク、工場・事業所周辺の緑地空間の維持による多様な機能の向上、本市の特徴である水に関わる資源の活用が重要です。
- ・【防災】緑が持つ防災・減災の機能を活かしたまちづくり、身近な公園を活用した市民の防災意識向上、公園の持つ防災の役割や機能の検討が重要です。
- ・【レクリエーション・コミュニティ】公園と他施設との連携によるレクリエーション機能の向上、都市公園の柔軟な活用、担い手不足等の対策が必要です。
- ・【景観】本市の景観形成に重要な役割を果たしている緑の適切な維持と次代への継承、緑や花による潤いある住環境の創出、魅力のあるまちなみづくりが重要です。

市民の意識（本編P 28）

- ・緑の豊かさを感じる割合や緑への満足度は高まっており、量よりも質を重視する傾向が見られます。
- ・市が優先すべき取組、市民と緑との関わりを広げていくための取組として、子どもが花や緑、自然とふれあえる場や機会の充実が期待されています。
- ・緑地の保全や緑化の推進による効果として、「富士山をはじめとする良好な景観を形成する」ことが期待されています。

課題と策定の視点（本編P32）

課題

策定の視点

既存の緑の維持・保全と活用を一層重視する段階への移行

緑の資産を健全に育て未来に引き継ぐための取組の充実

身近な緑と公園の適切な管理、再生

身近な緑（公共の緑や民有の緑地など）と公園の魅力の向上

安心して快適に暮らせるまちづくりにつながる緑の充実

安全安心なまちづくりに向けた緑を支える取組の継続

市民・事業者との協働と次代を担う緑を育む人づくり

緑を育む多様な担い手や多様な参加を支える仕組みづくり

第3章 緑の将来像と目標（本編P35）

多様な担い手が連携・協働し、みんなではぐくみ、次世代につないでいくことで、富士山を望むまちを彩る多種多様な緑の質の向上によって、より一層緑が輝き、地域のWell-beingを高めるまちを目指します。

将来像 みんなではぐくみ、つなぐ 富士山と緑の輝くまち

目標1

富士山を望むまちの緑をつなぐ

様々な機能を持つ緑を、適切に保全・管理し、「緑の量」を維持していきます。
そのために、緑の量を示す「緑地面積」（施設緑地と地域制緑地の合計）と「緑被率」を指標とし、「維持」を目標とします。

目標指標	現状	目標
①計画対象区域（都市計画区域）における緑地面積	3,254ha	維持
②緑被率（市街化区域）	23%	維持

目標2

みんなでまちの魅力を高める緑をはぐくむ

多様な担い手による様々な活動を通じて、緑豊かで魅力あるまちづくりやコミュニティの醸成につなげていくことをめざし、緑や花を育てる市民活動の活発さに対する市民の意識（満足度）を指標に設定し、向上を図ります。

目標指標	現状	目標
緑や花を育てる市民活動の活発さに関する市民満足度	24.9%	30%

柱1

緑を
まもり
つなぐ

柱2

緑を
いかす

柱3

みんなではぐくむ

緑の配置方針と将来構造（本編P38）

まもり つなぐ緑	自然環境、森林 山麓につらなる農地 湿地及び周辺の農地 水辺環境
いかす緑	緑と水の拠点 緑と花で訪れる人をもてなす、にぎわいのある商業・業務地 工場地等の緑化を誘導していくエリア
はぐくむ 緑	緑と花を活かした暮らしづくりを特に進めるエリア 緑と花の活動区域（都市計画区域） 緑化重点地区
主要な公園・緑地・広場	主要な幹線道路
河川	鉄道
高速道路	市街化区域



第4章 施策（本編P42）

施策の柱	施策	【主な取組】	横断的な視点			
			ルニカー への 貢献	ポネ への 貢献	への 向上 貢献	Well-being
柱1 緑を まもり つなぐ	施策1 富士・愛鷹山麓の森林の 保全・管理	富士・愛鷹山麓に広がる自然豊かな森林を適正に管理し、自然環境の保全、森林の土砂災害防止機能の維持につなげます	●	●	●	
	施策2 生物の生息・生育環境の 保全	多様な生物の生息・生育環境となる緑地を保全します		●		
	施策3 樹木・樹林の保全	富士山の映える緑豊かな景観をつくる、市街地の内外の樹林や樹木を保全します	●	●		
	施策4 水辺空間の保全・管理	河川、海岸などの水辺の緑を適切に保全・管理します 水循環を保全します		●	●	
	施策5 農地等の保全・活用	景観形成、雨水流出抑制など多面的機能を持つ農地を保全・活用します			●	
柱2 緑を いかす	施策6 公園・緑地の利活用	子どもをはじめ多くの人が利用しやすい環境づくり、施設・植栽の適切な管理、民間活力との連携などにより公園・緑地の利活用を進めます	●	●	●	
	施策7 公園・緑地の機能向上・ 適正配置	公園の規模に応じた役割分担に基づき、公園ごとの特色づくりを進めます	●	●	●	
	施策8 富士山の映える 緑のまちなみづくり	ゆとりある住環境、公共空間の緑の健全育成、工場等における緑化の誘導を通じ、富士山の映える緑豊かなまちなみをつくります	●	●	●	
	施策9 雨水の貯留・浸透の促進	雨水の貯留・浸透につながる緑を保全・創出します			●	
柱3 みんなで はぐくむ	施策10 緑と花の魅力を伝える 情報発信	緑と花に関心を持つきっかけとなる情報発信を進めます			●	
	施策11 緑や花とふれあう 体験づくり	子どもが緑や花にふれあい、体験する場や機会を設けます	●		●	
	施策12 緑と花の暮らしづくり	緑と花にあふれる暮らしづくりを支援します	●		●	
	施策13 緑と花をみんなで はぐくむ活動推進	みんなで緑と花がつなぐ活動を支えます			●	

豊かな自然を擁し、富士山を望む景観形成、防災・減災につながる富士山麓の骨格的な自然環境、森林・市街地や水辺・沿岸部などのまとまった緑地とそのネットワークを維持・継承していきます。

公園や公共空間、まちなかの緑や花を健全に育て、活かしていくことで、暮らしやすく魅力あるまちづくりにつなげていきます。

市民・事業者をはじめ、多様な担い手が緑化活動や身近な公園の管理・活用に携わり、緑や花の彩りにあふれ、一人ひとりがWell-beingを実感できるまちを実現していきます。

第5章 計画の推進に向けて（本編P59）

推進体制（本編P 59）

市民、事業者、行政がそれぞれの役割を担いながら連携・協働して、将来像の実現に向け、施策・取組を推進します。

市民

- 身近な緑や花について知り、学ぶ
- 自宅で花や緑を育てる
- 地域の緑化、緑地保全、公園づくりの活動に参加する

事業者

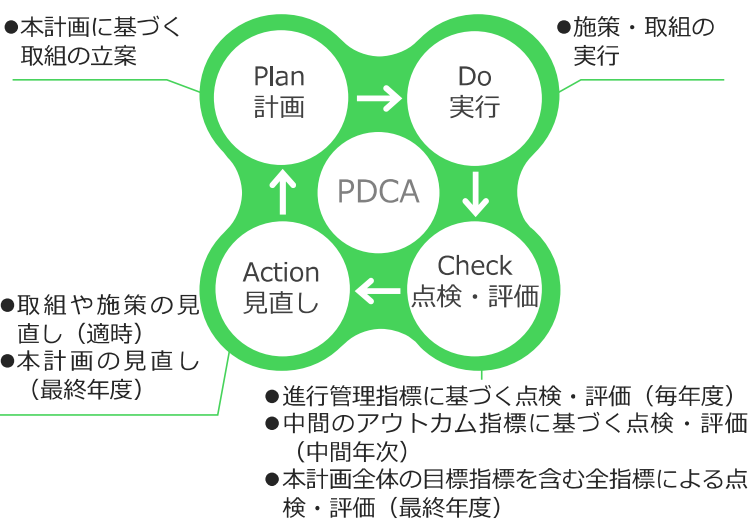
- 事業所の敷地や建物を緑化し、緑のまちなみづくりに協力する
- 地域の緑化活動等に参加、協力する

行政

- 法令の運用により緑地保全、緑化の誘導を図る
- 公共施設、道路、河川の緑を適切に管理する
- 公園を整備・管理する
- 市民・事業者等への情報提供、取組の支援を行う

進捗管理（本編P 60）

P D C Aサイクルに沿って計画、施策・取組の実行、目標指標・進行管理指標に基づく進捗状況の点検・評価、施策・取組の見直しを継続的に行います。



本計画を着実に推進するため、「第4章 施策」の「取組の方向性」に示した内容を具体化したアクションプランを作成し、取組を実行します。

- 【主な実施内容】
- ・毎年度、アクションプランに計上した取組の進捗状況を把握します。
 - ・おおむね5年ごとに、目標指標として設定した「本計画全体の目標指標」と「施策の柱ごとの中間のアウトカム指標」の達成状況をアンケート調査等により確認します。
 - ・取組の進捗状況と、目標指標の達成状況は、多角的な視点から評価し、必要に応じて取組の見直しを検討します。

【取組の進捗状況の把握イメージ】					
取組名	花や緑にふれあう機会の提供				
進行管理指標	単位	計画策定時	目指す方向	令和8年度実績値	進捗
緑化講習会等の開催数（累計）	回		↗		○